

第4学年〇組 道徳科学習指導案

日時 令和〇年〇月〇日(〇)第〇校時

場所 〇年〇組 教室

児童数 〇〇名

授業者

1 主題名 正直に明るい心で 内容項目 [A 正直、誠実]

2 ねらい 正直な心を大切にして、明るい気持ちで生活しようとする態度を養う。

教材名 「あかいセミ」(出典:「新しいどうとく」東京書籍)

3 主題設定の理由

(1)ねらいや指導内容について

小学校第3学年及び第4学年の内容項目 A は「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。」である。これは、過ちを犯したときには素直に反省し、正直に明るい心で生活しようとする態度を育てることをねらいとしている。

この内容項目について、他の学年との関連をまとめると以下ようになる。

小学校1学年及び 第2学年 A	小学校3学年及び 第4学年 A	小学校5学年及び 第6学年 A	中学校 A
うそをついたりごまかし をしたりしないで、素直 に伸び伸びと生活する こと。	過ちは素直に改め、正 直に明るい心で生活す ること。	誠実に明るい心で生活 すること。	自立の精神を重んじ自 主的に考え、判断し、誠 実に実行してその結果 に責任をもつこと。

児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。また、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対してもまじめに真心を込めて明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢をもつことが大切である。

中学年児童の段階においては、特に他者に対してうそを言ったりごまかしたりしないことに加えて、そのことが自分自身をも偽ることにつながることに気付かせることが求められる。その上で、正直であることの良さを自覚できるようにすることが大切である。さらに、過ちを犯したときには素直に反省し、そのことを正直に伝えるなどして改めようとする気持ちを育むことも求められる。このことは、たとえ仲の良い仲間集団のなかにあっても、周囲に安易に流されない強い心を養うことと考える。

指導に当たっては、正直であるからこそ、前向きで明るい心で生活が実現できることを理解し、この段階の活動的な特徴を生かしながら、児童それぞれが元気よく生活できるようにしていくことが望まれる。

(2)これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、日頃から素直で明るく正直な児童が多い。友達とぶつかったり、いけないことをしてしま

ったりしても正直に過ちを認め、謝ることのできる児童が多い。一方で、いけないことをしてしまったりしても、人のせいにしたたり、自分が過ちをおかしてしまったのには他に原因があり、仕方のないことだ、と自己中心的に考え、正直に自分のしてしまった過ちを認められなかったりする児童も一定数いる。

これらを踏まえ、本時では、教材を通して、過ちを認めて正直に話すことで、相手に対しても自分自身に対しても正直に生きることにつながることに気付かせたい。正直に話すことで、気持ちがすっきりし、明るい気持ちで生活しようとする態度を育みたいと考える。

(3)教材の特質や活用方法について

主人公「ぼく」は、店で赤い消しゴムを盗んでしまったことで、どんどん悪い人間になっていくことを感じ、夜も眠れない。その後、母親に打ち明け、店に正直に謝りに行くという内容である。盗んだ赤い消しゴムのことがずっと気になり続け、後悔の念のために夜も眠れない状況になる主人公の心情の描写は、児童が「うそやごまかしをし続けることの不快さ、後ろめたさ」を感じることができる。

盗んだ消しゴムのことがずっと気になり続ける場面から、正直に話さなければならないと思いつながらも、はずかしさや正直に話すことへの恐怖心から行動できず、正直に話そうか話さないか迷う「ぼく」の葛藤を自分自身と関連させながら考えさせたい。また、「ぼく」が正直にお店に謝りに行き、その後のすがすがしく生活できる心情から、正直に生きることの気持ちのよさに気付かせたい。

そのために本時の話合いでは以下の流れに沿ってねらいにせまっていく。

- ① ゆみとの約束を破り、セミの羽をちぎる場面で、消しゴムのことが気になってすっきりしない気持ちに気付かせる。
- ② 寝ようとしても消しゴムのことが気になって眠れない場面で、揺れ動く「ぼく」の気持ちを自分と関連づけて考えさせる。
- ③ お店に謝りに行く場面から、正直に謝ったときの心のすがすがしさに気付かせる。

以上の理由から本主題を設定した。

4 指導の工夫

①教材を提示する工夫

導入では、授業全体を通して考えていく学習課題を掲げ、問題提起し、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。

②発問の工夫

児童の問題意識が生み出され、多様な感じ方や考えが引き出されるようにする。

③話合いの工夫

展開段階では、個人からグループへの全体での話合いにより、様々な児童の考え方を知り、自己の考えを深めさせる。


④板書を活かす工夫

児童の思考の内容や過程が分かるように構造的に板書していく。

⑤指導観シートの作成

指導観シートを作成、活用し、発問の意図やねらいを整理することで明確な指導観のもと授業が進められるようにする。

5 学習指導過程

段階	学習活動(○主な発問)	・予想される児童の発言	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	<p>1 学習課題を設定する。</p> <p>○「正直な心」とは何かを考える。</p>	<p>・本当のことを言う。</p> <p>・いけないことをしたら謝る</p>	<p>・事前にアンケートを取っておく。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問題意識をもたせる導入</p> <p>T:正直な心ってどんな心ですか？</p> <p>C:うそをつかない。 本当のことをいう。 すなお。 悪いことを反省しあやまることができる。</p> <p>T:正直な方がいいと大人はいいますよね。 なぜ大切なのか考えたことがありますか 今日はなぜ大切なのか考えていきたいと思います。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		<p>・正直さについて考え、ねらいとする道徳的価値について問題提起する。</p>
展開	<p>2 教材「あかいセミ」を読みながら話し合う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>「正直な心」はなぜ大切なのだろうか。</p> </div>	<p>・本時は教材を通じて「正直な心の大切さ」について考えることを話す。</p> <p>・場面再現を行うために、教科書の文を区切って読む。</p>

「ぼく」は、店で赤い消しゴムを盗んでしまう。その後もゆみとの約束をやぶったり、セミの羽をちぎったりと、どんどん悪い人間になっていくことを感じていく。消しゴムのことが頭から離れず、夜も眠れなくなってしまふ。

(1) ゆみとの約束を破り、セミの羽をちぎってしまった「ぼく」はどんな気持ちだったのだろうか。

- ・悪いことをしてしまった。
- ・この赤い消しゴムをどうしよう
- ・イライラする。
- ・どうしよう。

- ・消しゴムを盗んでしまったことで、頭から離れずに、イライラしてしまう気持ちに気付かせる。
- ・自分の意見を明確にして話し合い、正直に言わなければいけないが言い出せなくて葛藤する気持ちを考えられるようにする。
- ・グループで話し合い、多様な考えを引き出す。

(2) もし、自分が「ぼく」であったら、正直にお店のおばちゃんに言えるだろうか。

言える

- ・このままずっと消しゴムのことを気にして眠れないのはいやだ。
- ・モヤモヤしたまは良くない。
- ・正直に謝りたい。
- ・悪いことをしたから謝る。

言えない

- ・お母さんやおばちゃんにどう思われるか心配。
- ・はずかしい
- ・怒られるのがこわい。

価値理解を深める話し合い

- T:言えると考えた人はどうして言えるの。
- C:早く謝ったりしないと、嫌われるから。
- C:謝らないと、いやになっちゃう。
- T:なにがいやになっちゃうの。
- C:怒られるのがいや。言えないよりはましかな。
- T:言えない人はどうして言えないの。
- C:怒られないか不安。
- C:悪いことをしているから言えない。
- T:怒られるのは確かに不安だね。

	<p>(3)おばちゃんと「ゆびきりげんまん」をして、「ぼく」はどんな気持ちになったのだろうか。</p> <p>3 学習課題について考えをもつ。</p> <p>○「正直な心」はなぜ大切なのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すっきりした。 ・謝ってよかった。 ・もう絶対にやらない <ul style="list-style-type: none"> ・心の中のもやもやがなくなるから。 ・きちんと謝って、自分もすっきりできるから。 ・自分も相手もすっきりするから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正直に謝ったときの心のすがすがしさを感じ取れるようにする。 <p>☆主人公の気持ちの変化を捉え、正直に生活することの良さに気付いていたか。(発言・つぶやき・表情)</p> <p>・これまでの学習から正直に生活することの大切さについて考え、これからの自分自身の生き方につなげていく。</p> <p>☆自分の過ちを素直に認め、正直に生活しようとすることについて自分との関わりで考えることができたか。(発表、つぶやき、表情、ワークシート)</p>
<p>終末</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の過ちを正直に話してよかったと思う教師の経験を話す。

6 他の教育活動との関連

- ・国語

「ごんぎつね」では、主人公の気持ちの変化を追いながらも、つぐないを何度も行う主人公の行動と気持ちに着目させる。

7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公の気持ちの変化を捉え、正直に生活することの良さに気付いている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分の過ちを素直に認め、正直に生活しようとするについて自分との関わりで考えている。

8 板書計画

「正直な心」は、なぜ大切なのだろう。 ～あかいセミ～

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「正直な心」とは？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本当のことを言う。 ・いけないことをしたら謝る。 <p>【正直はどうして大切なのだろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の中のモヤモヤがなくなっていくから。 ・きちんと謝って、自分もすっきりできるから。 ・自分も相手もすっきりするから。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">言えない</div>	<p>—</p> <p>・おこられるのがこわい。</p> <p>・せめられるのがこわい。</p> <p>・みんなの目が気になる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">言える</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">絵</div> <ul style="list-style-type: none"> ・この赤い消しゴムをどうしよう。 ・イライラする。 ・どうしよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 20px;">絵</div> <ul style="list-style-type: none"> ・すっきりした。 ・謝ってよかった。 ・もう絶対にやらない
---	--	--	---	---

